

日野市で雨不足深刻 井戸から散水できない例も

掲載日：令和7年9月11日（木）

日野市では、雨不足が農作物に深刻な影響を及ぼしている。梨が高温や乾燥により全般的に小ぶりのため、例年に比べて売り上げが減少する見込みだ。ブドウでは水分不足により玉張りが悪く、シワ果もあり、販売に適さない房が増えたため、急遽ワイン加工用にシフトした。

同市で梨とブドウを40アールの畑で栽培する田中宏明さん（68）は、先代が掘削した浅井戸からかん水ポンプで畑に散水していたが、水不足により途中で水の出が悪くなって中断した。毎年、散水に使用していた井戸だが、今までこのようなことは一度もなかったという。

田中さんは、「作物以外の草を生やして栽培する草生栽培により畑も乾燥することがなかったが、さすがに3週間も降雨がないと乾燥し、井戸も枯れてしまう。今後の雨に期待するしかない」と天を仰いだ。

都内ではゲリラ豪雨が降っていたが、日野市を避けるように雨はほとんど降っていない。



かん水の準備をしている田中宏明さん（東京都日野市で）